

プロジェクトM

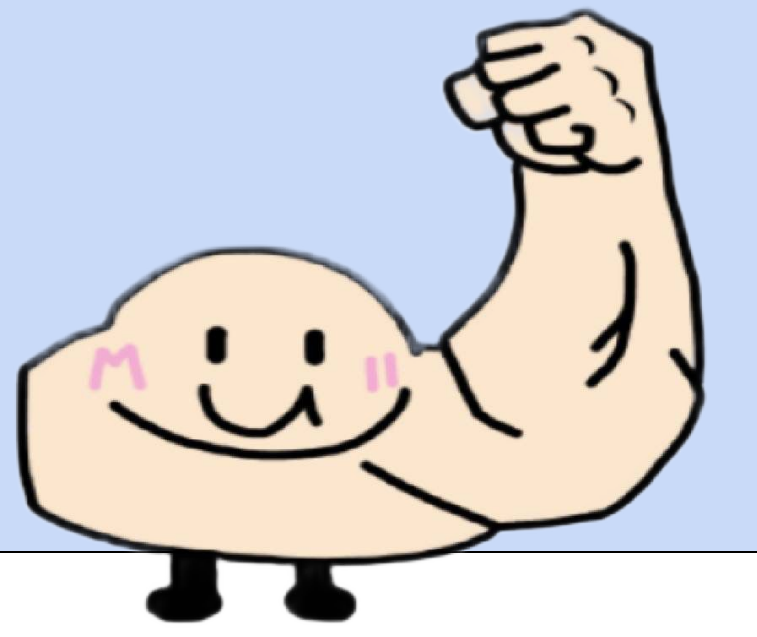
フロンティア科 14班

多田沙希

山崎ひなた

古川秀明

吉田楓音



1.研究概要

現代社会における環境問題の一つとして、**海のゴミ問題**が挙げられる。この問題の解決・改善には、地域住民の興味関心を高め、住民一人ひとりが考え行動するよう促すことが重要である。そこで南高生をはじめとする地域住民に現状を伝え、意識・行動を改善するために、海のゴミをリサイクルして『Müllリサイクル』というブランドを立ち上げ、製品としてブックストッパーを作った。またこの活動を通して再度正しいリサイクル方法を人々に伝え、彼らが身近に環境問題について考える機会が増えるよう活動を行った。

2.研究過程

- ①宮崎の海の現状を知るためにボランティアを主催し、ゴミを集める
- ②集めたペットボトルを使い、ブックストッパーを作る
- ③ブックストッパーの展示と価格に関する調査を行う
- ④ペットボトルの正しいリサイクル方法を伝える

3.ボランティアの実施

・ゴミ拾いの結果、**ペットボトル**が一番多く落ちていた
内訳: ペットボトル:4割 プラスチック製のゴミ:3割
カン・ビン:2割 その他生活用品等:1割

・またボランティアの実施直後に、参加者全員にアンケートを取った。
内容は以下の4つである。

- ・参加理由
- ・活動を通して気がついたこと
- ・参加前後での環境に対する意識の変化
- ・今後どのように環境問題に関わっていきたいか



4.ブックストッパーの作成方法

- ①拾ってきたペットボトルキャップを洗浄し細かく刻む
 - ②針金で作った型に刻んだキャップを入れる
 - ③アイロンで溶かす
 - ④冷めたら型から外し、ヤスリで形を整える
- ※ **キャップの方が溶けやすい**ためキャップを使用
※ 1つのブックストッパーにキャップ4〜5個使用



5.ブックストッパーの機能性

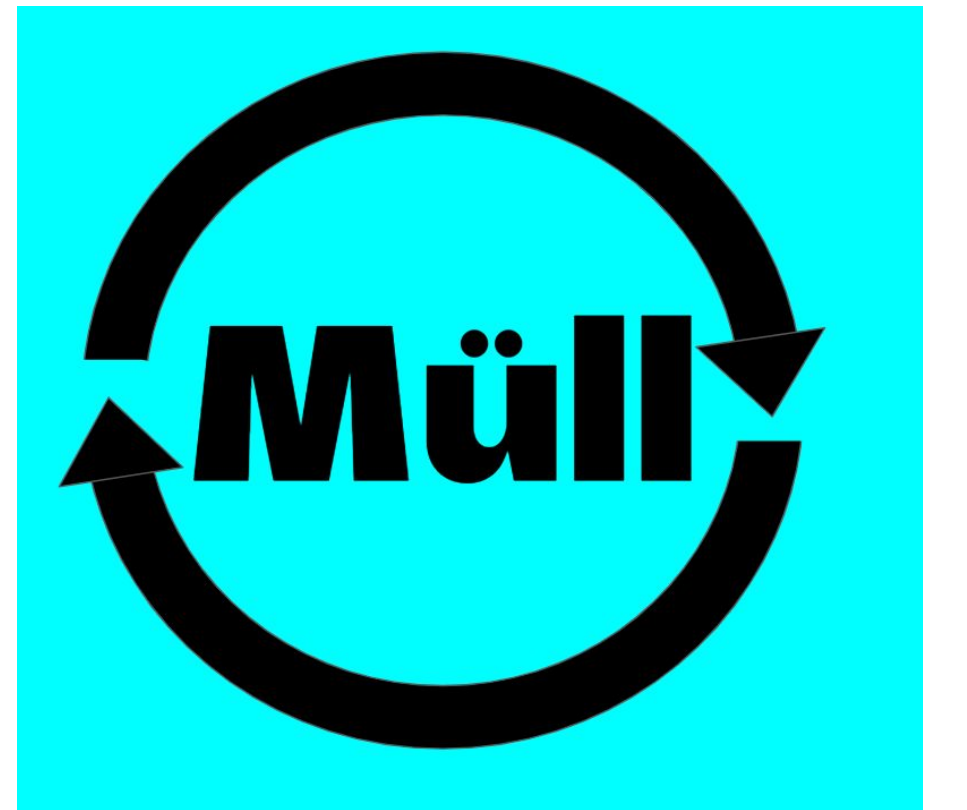
	良い点	悪い点
3本	コンパクト	分厚い本は挟めない
4本	分厚い本も挟める	3本よりかさばる



上の表から、3本より4本の方が**機能性が高い**ため4本の方を採用した。

6.『Müllリサイクル』について

・ブックストッパーのPRのため
ブランド名とロゴマークを考案！！
ブランド名は『Müllリサイクル』
Müllはドイツ語でゴミを意味する。



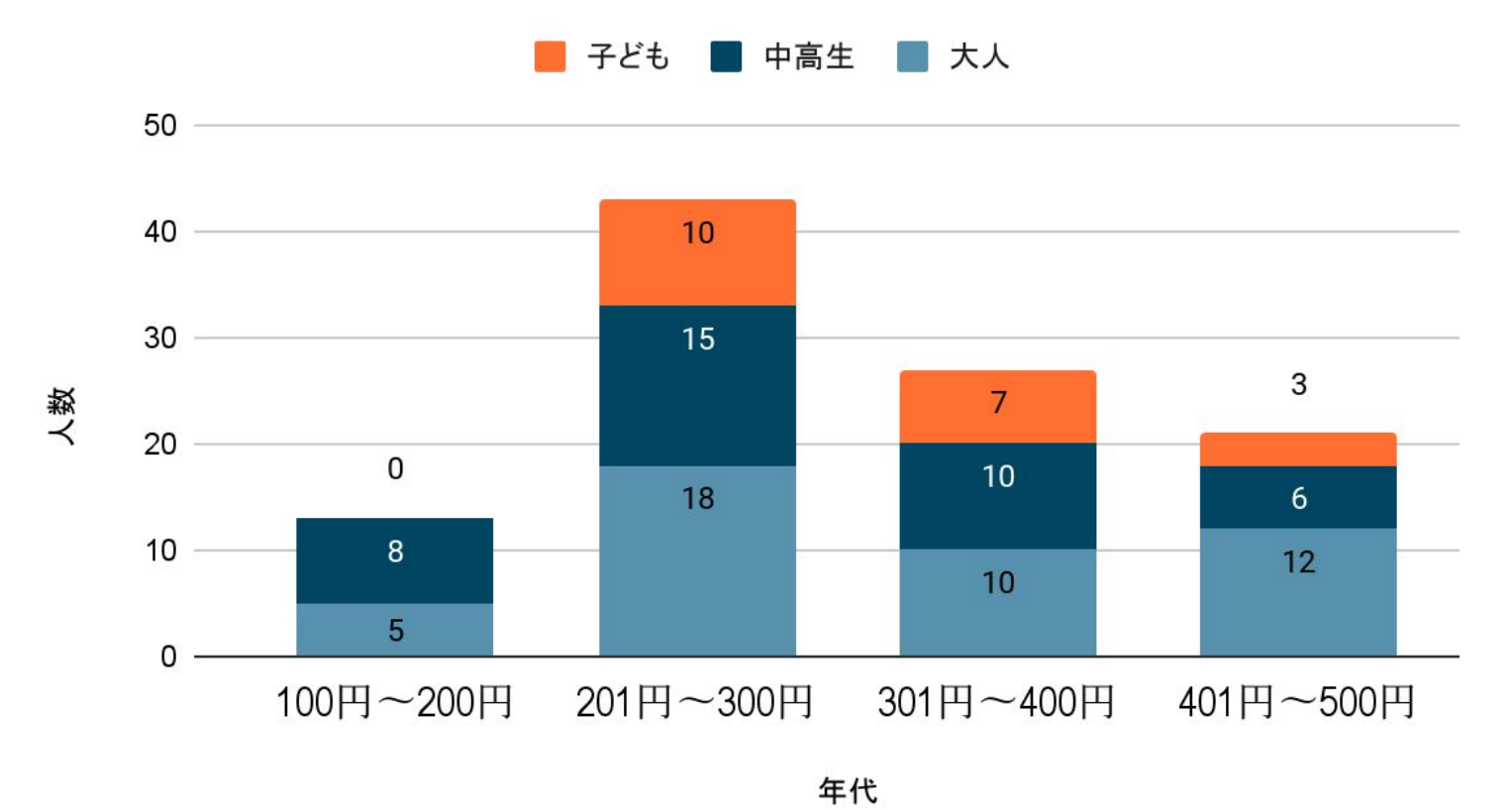
この活動を通して
地球を少しでもきれいにし、
世界中の人々を笑顔にしたいという意味を込めた。
・校内で行われたイベントで価格に関する調査を行った。

7.結果

①

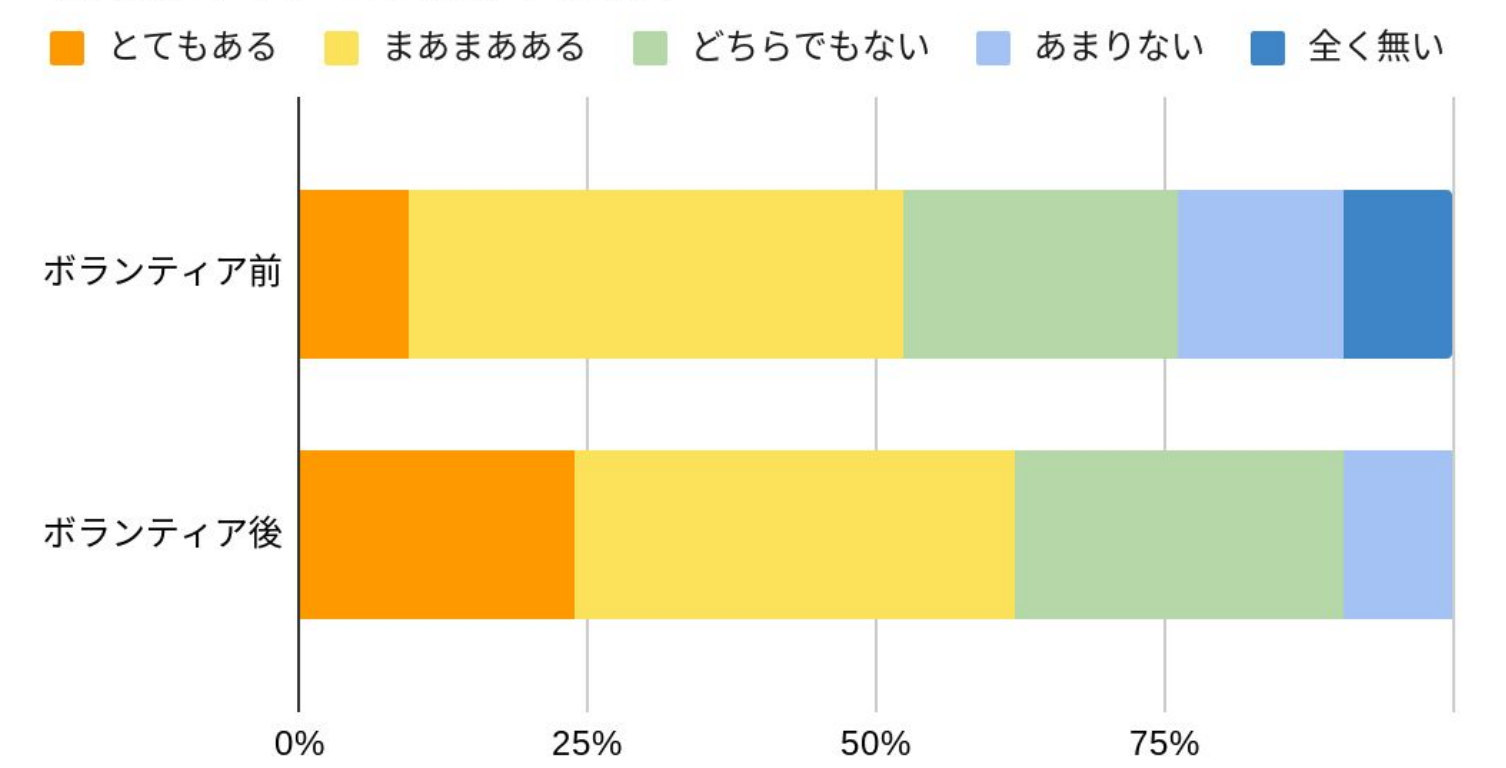
・Müllの値段は
201円〜300円に
設定する人が
多かった

ミュルの評価



・環境にとっても ②
興味がある人の数が
二倍以上に増えた

環境に対する意識の変化



・環境に全く興味が
ない人が居なくなった

8.考察

3.ボランティアの実施を通して**ペットボトルが海岸に多く**落ちていることや**キャップ**などが分別されていないなどの現状を知りポイ捨てや屋外放置などが多い理由や人々に正しい分別の方法を伝えるべきだと考えた。

4.ブックストッパーの作成方法より、ブックストッパーを作るのに必要な材料は多くないため、作り方さえ伝えれば誰でも作ることができるのではと考えた。また、7.結果の①価格のアンケートよりブックストッパーには**201〜300円**の価格をつける人数が最も多かったため、ゴミのリサイクル商品でも価値があるのではと考えた。

9.今後の展望

- ・家庭以外の場所での正しいペットボトルの分別方法を広める
- ・ブックストッパーの生産精度の向上
- ・ブックストッパーの配布・販売
- ・地域住民の環境問題への興味・関心の向上

参考文献

海のゴミでアクセサリーを作る方法オーシャンカレッジ地球環境編vol.3<https://www.youtube.com/watch?v=s1Ma-pSSDjs>